



S×UKILAM連携 第9回教材化ワークショップ教材案

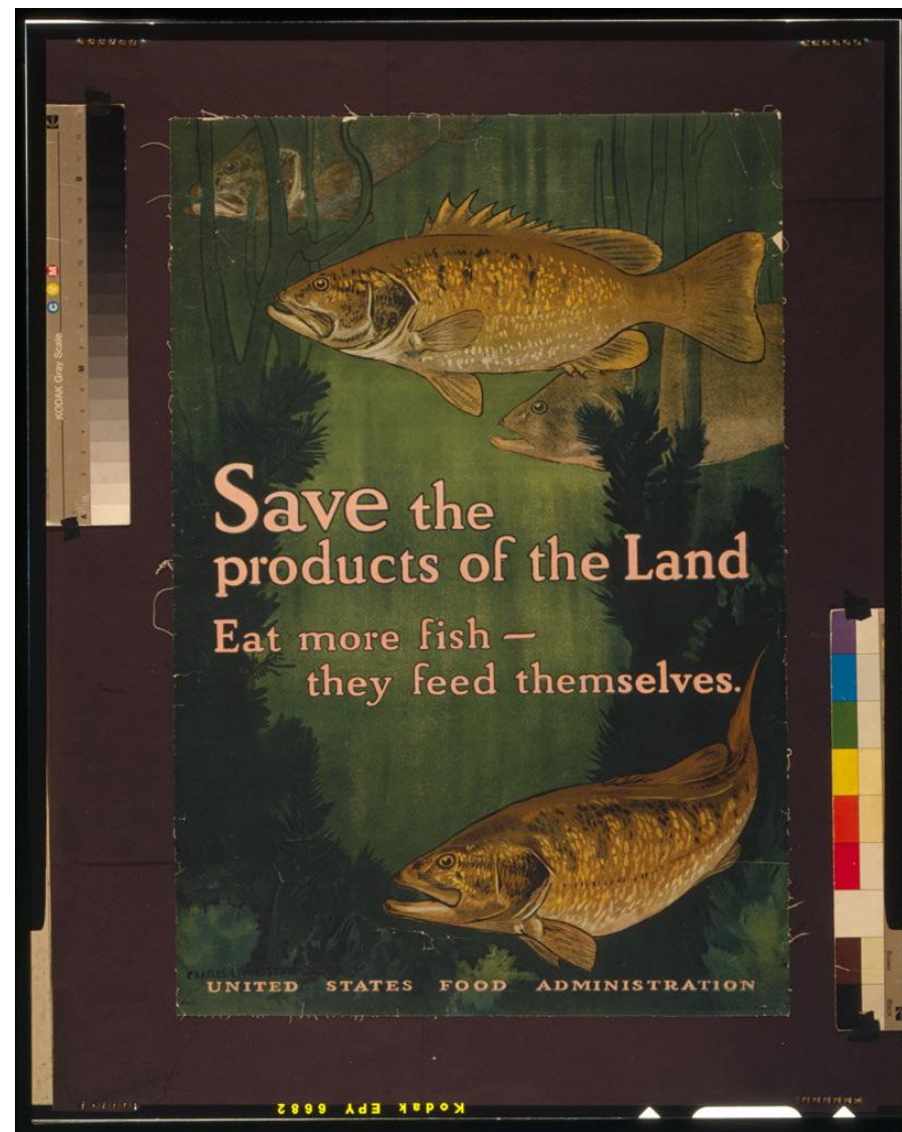
戦争と食を考える

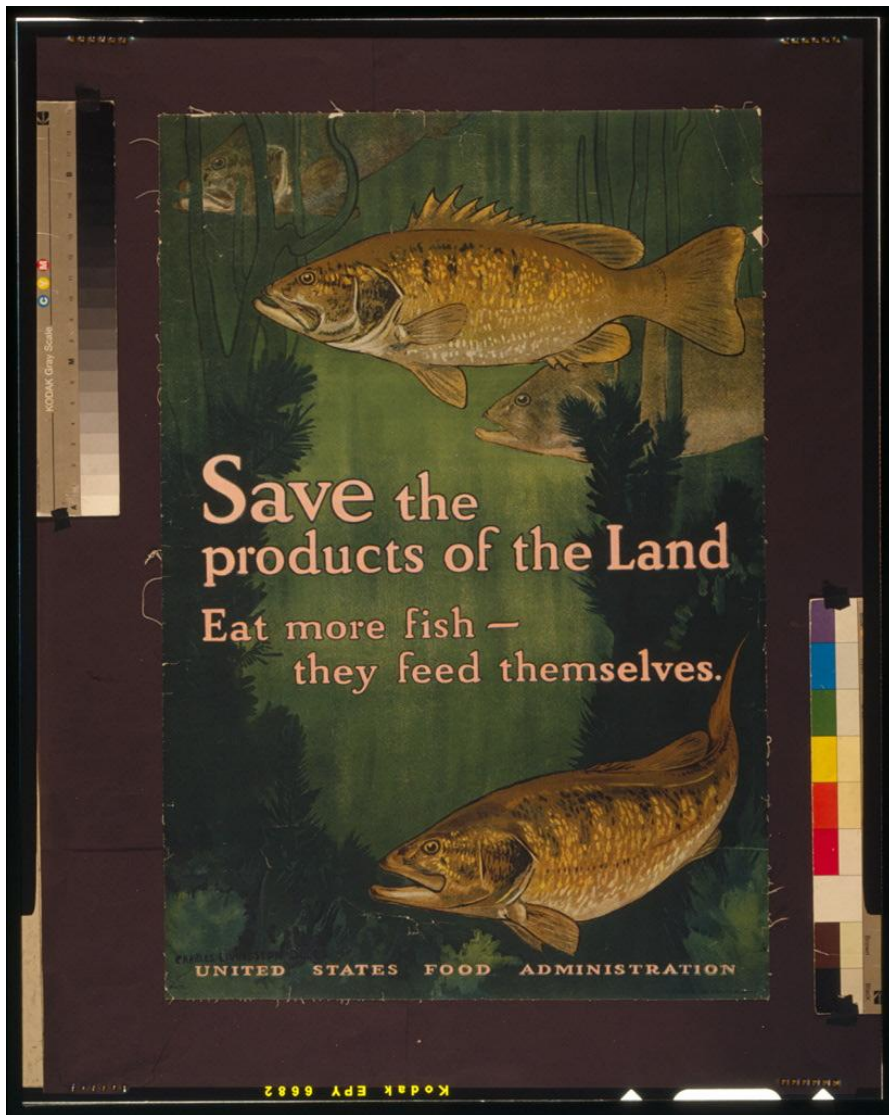
～総力戦体制下の“メシ”～

E班：山岸 智弘、太田 絵里奈

共通部分

いつ、どこの
何を表したポスターだろう？





Q：このポスターA（1918年頃）は
どのようなことを表しているだろうか？

《ヒント》

（1） **Save the products of the Land**は何を意味するだろうか？ まずは訳してみよう。

（2） 1918年にはどのような出来事があっただろうか？

（3） （2）のような時代にも関わらず、**Eat more fish**と言っているのはなぜだろうか？

もっと具体的に理由を考えてみよう！



Q：前年（1917年）に出されたポスターBからその理由を読み取ってみよう。

《確認項目》

- （1）何を「食べろ」と言っている？
- （2）何を「食べるな」と言っている？
- （3）それはなぜだろう？



Q：1918年頃に出されたポスターCから
その理由を読み取ってみよう。

《確認項目》

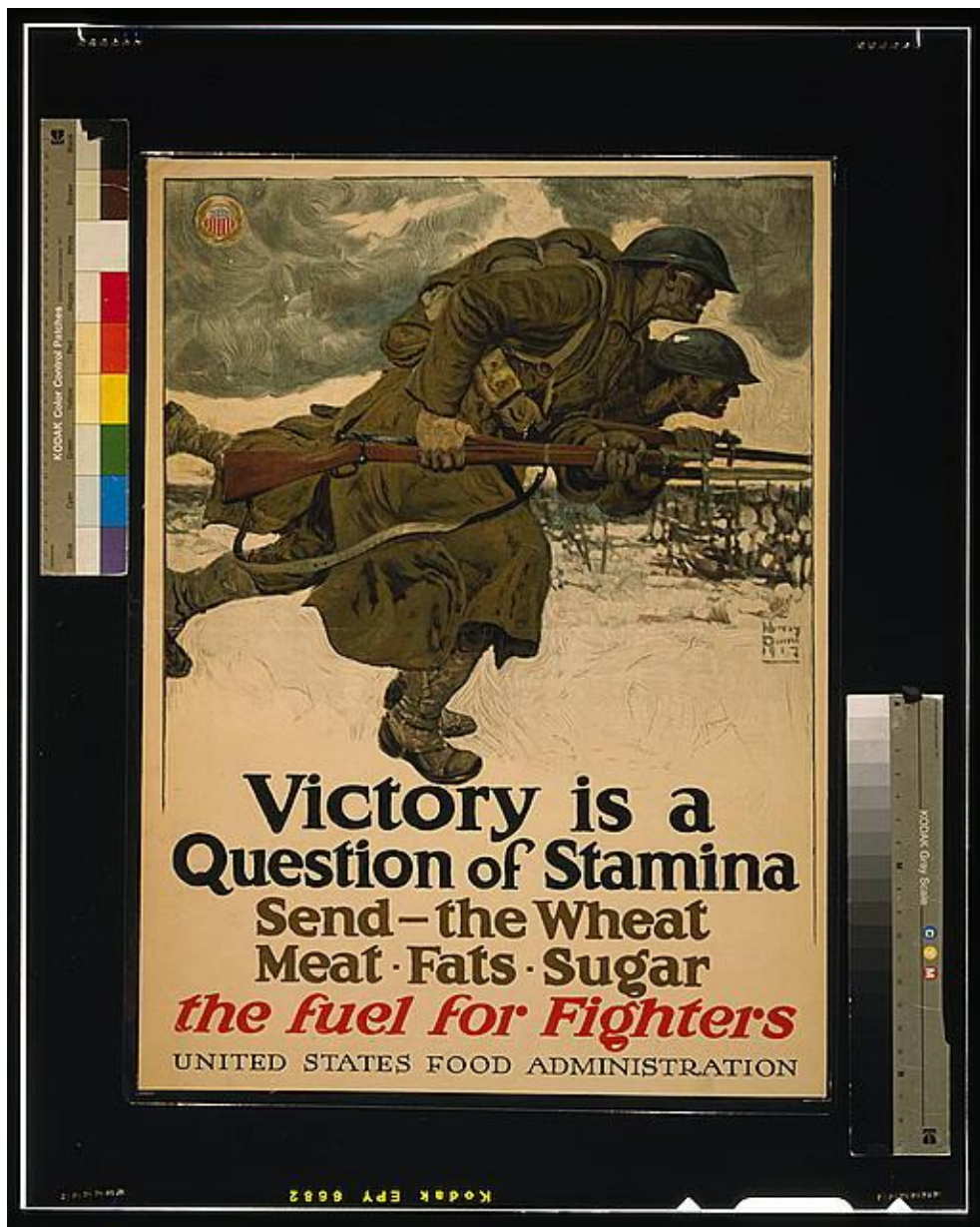
- (1) 中央部の女性は何を意味しているだろう？
- (2) **Sow the seeds of Victory!** を訳してみよう。
- (3) **Plant & raise your own vegetables.** を訳してみよう。
- (4) 国家戦時農園委員会がなぜ、このような指示をしたのだろうか？
その理由を“**Every Garden a Munition Plant**”から考えよう。



Q：このポスターD（1918年）では
何が求められているだろう？

《確認項目》

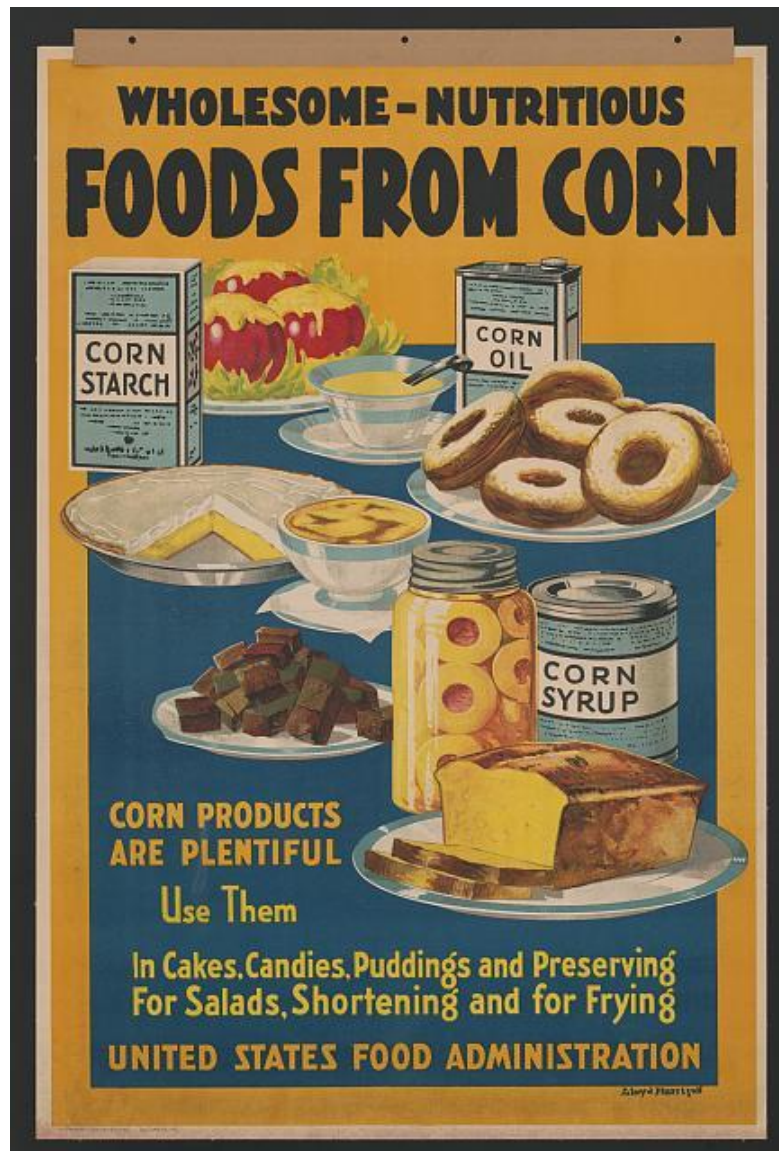
- （1）何をすることを求められている？
- （2）何をしないことを求められている？
- （3）それが何につながっているのか？



Q：このポスターE（1917年）では
何が求められているだろう？

《確認項目》

- （1） **Victory is a Question of Stamina**を訳しよう。
- （2） そのために、何が必要だとされているだろう？



Q：このポスターF（1918年）では何が求められているだろう？

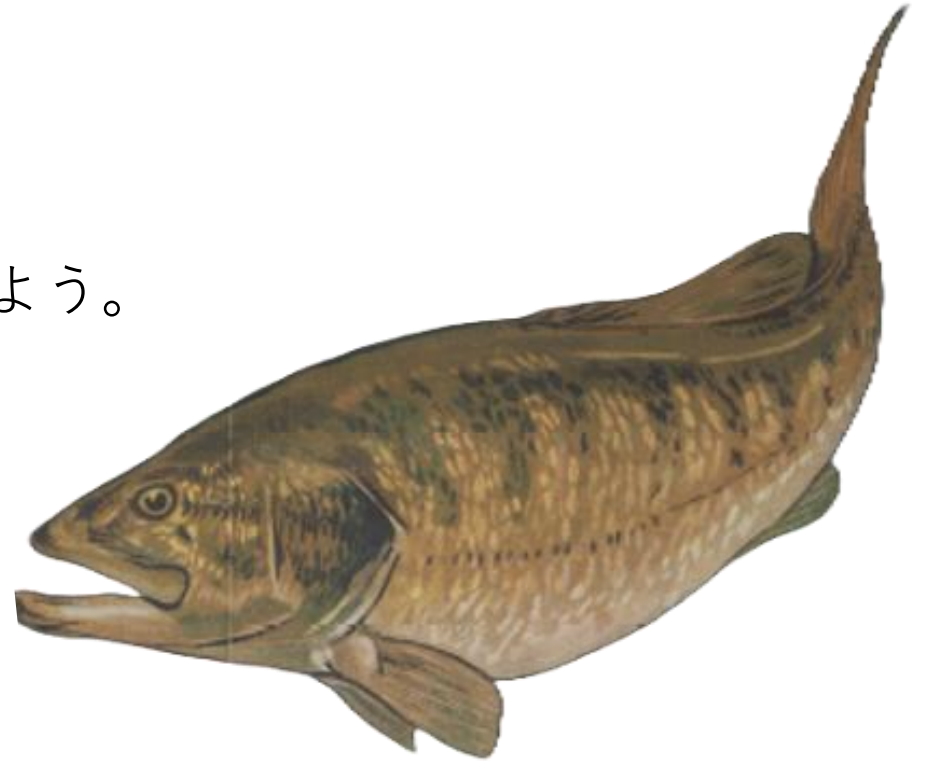
《確認項目》

- （1）何を使って、何を作ることが奨励されているだろう？
- （2）その、使う“もの”には、どのような特徴があるだろう？

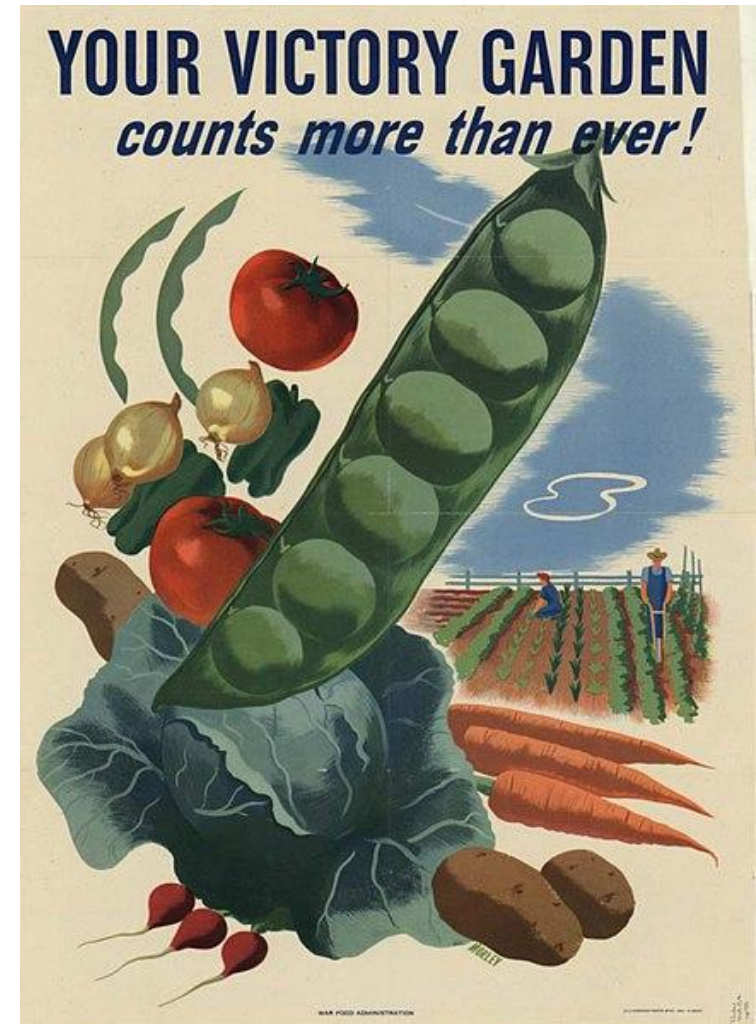
何故、このようなメッセージが
第一次世界大戦中に出されたのだろうか？

「総力戦」とは？

- 総力戦の概念を確認しよう。
- ポスターとの連関で、戦争と食料の関係を整理しよう。
(講義orグループ活動)



では、これらのポスターはいつのもの？

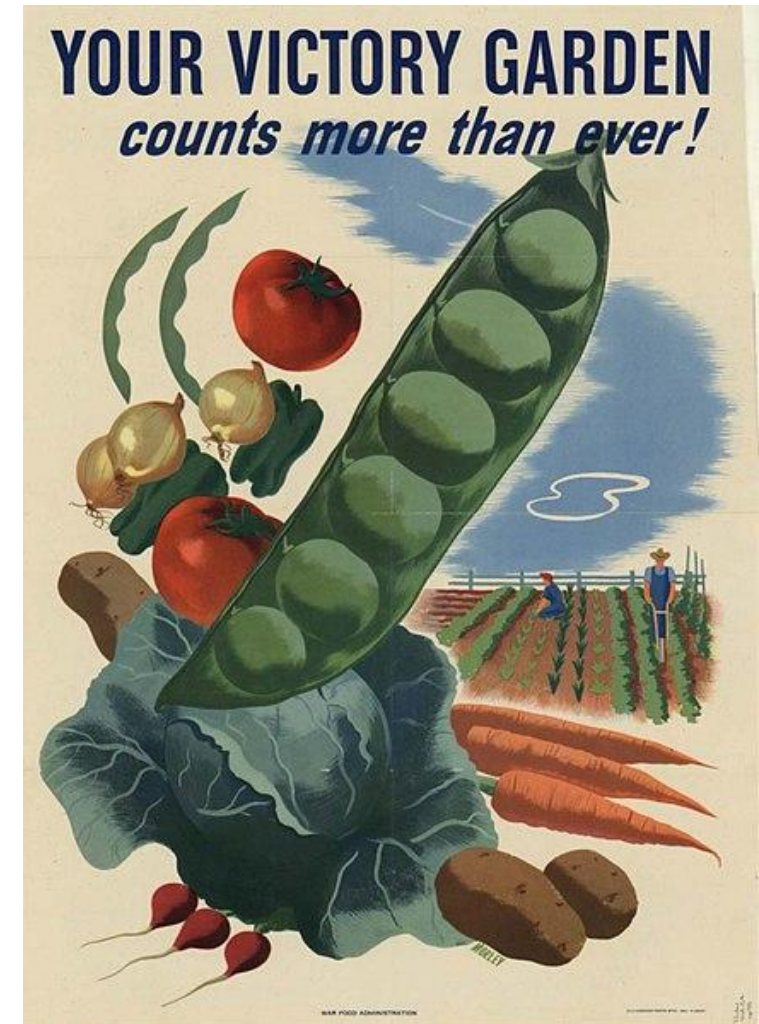


メッセージに大きな違いはあるだろうか？



← 第一次世界大戦

第二次世界大戦→



なぜ、第二次世界大戦でも似たような表現がされたの
だろうか？

➤やはり、戦争と「食」は切り離して考えられない！



ここからは、より身近な
第二次世界大戦を考えよう。

分岐ルートA①

博物館やデジタルアーカイブを用いる場合

戦時中の日常をめぐる宣伝に注目して・・・

注目ポイント

- “誰（もしくはどの機関）”が作り、広めたのか？

- これらの内、スライド⑦以外は、アメリカ食品局（US Food Administration）が出している。
- どのような組織か、調べてみよう。

- いつ、その資料が作られ、広められたのか？

- 時代を特定し、それがどのような時代なのかを考えよう。
- その組織や上部組織はそのときどういう存在なのか？
- 発行部数や発行形態は？

いつ・どこで・誰が出したもののか、
形式はどうかに注目！

これらのポスターからわかることは…？

- 以下のように文章として提出（もしくは発表）！

「これらのポスターは、“〇〇〇〇”（文字数任意）
のために描かれた。

それは、“××××”（文字数任意）
であることからわかる。」



宣伝内容は“事実”とイコールだろうか？

- 「ポスターで宣伝されていた」ということは“事実”だが、その内容が“事実”といえるかは別問題！
- そのような宣伝をすることに意味があると考えられていた
 - 「誰が」、「いつ」作ったのかを踏まえることが重要

デジタルアーカイブや博物館の資料で
戦争の頃の日常に関わる宣伝を探し、
意味を考えてみよう。

例えば・・・

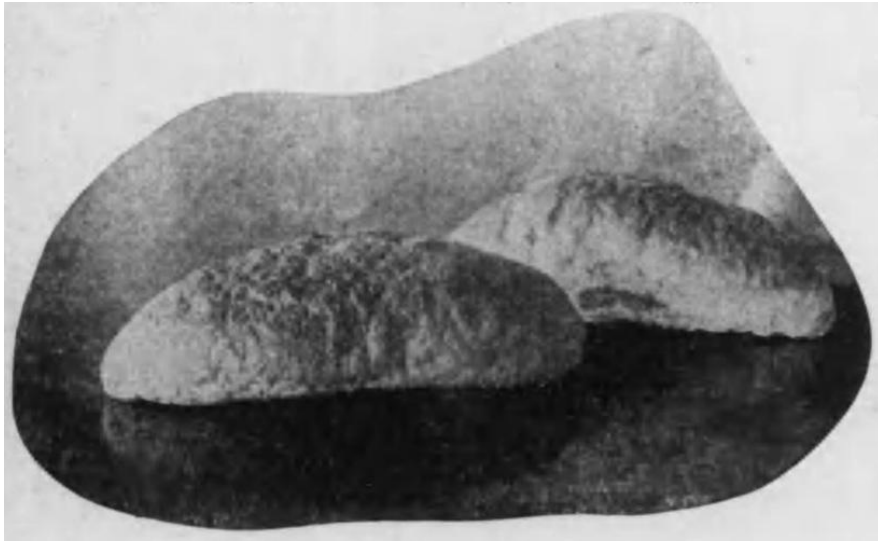
「何がなんでもカボチャを作れ」

ポスターのキーワードから時代背景を考えてみよう。

- 「何がなんでも」
- 「必勝食糧絶対確保」
- 「隣組長」



例えば・・・



左： [https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Koa_kenkoku_pan_\(photo\).jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Koa_kenkoku_pan_(photo).jpg)

興亜建国パンの写真（『一千万石目標節米調理法』1940年5月）

右： [https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Koa_kenkoku_pan_\(Illustration\).jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Koa_kenkoku_pan_(Illustration).jpg)

興亜建国パンを奨励するイラスト（『一千万石目標節米調理法』1940年5月）

気になった資料の意味を解釈してみよう！

- 得られた情報は、特定の立場から語られている。
- 図書館の本や教科書や資料集から、その情報がどういう意味を持つのか考えよう！
- 気になった資料の意味を考えるためのヒント ➤ 次のスライド

注目ポイント

・ “誰”の立場で書かれている／語られているのか？

➤たとえば、ポスターの多くは「アメリカ食品局」が出している。この組織はどんな組織なのだろう？

・ いつ、その資料が作られ、広められたのか？

➤時代を特定するだけではなく、それがどのような時代なのか、そしてその組織や上部組織はそのときどういう存在だったのかを考えてみよう。

・ 資料や情報の対象となる“時代”の記述とかけ合わせよう！

➤図書館の本を探してみよう。

➤教科書・資料集も見よう。

いつ・どこで・誰が出したもののか、
形式はどうかに注目！

成果の共有

◆以下の3点が必ず入るように1枚以上のスライド（ロイロノートなども可）にまとめよう。

- 対象資料の画像とその説明
- 資料が表す内容、意味
- その根拠、理由

◆発表

➤聞きながら、フィードバックシートに記入しよう。

◆データとフィードバックシートを教員に提出

分岐ルートA②

博物館を用いる場合

実体験に近づこう

博物館展示から、身近な「戦争」について探してみよう

- 博物館や資料館を利用して、戦争の頃の“日常”を探ってみよう。

たとえば…

立命館平和ミュージアム

昭和館

しょうけい館

帰還者たちの記憶ミュージアム（平和祈念展示資料館）

東京大空襲 戦災資料センター

地域の博物館、資料館で探る、「戦争の記憶」

デジタル・アーカイブから、 身近な「戦争」について探してみよう

- デジタルアーカイブを利用して、戦争の頃の“日常”を探ってみよう。

たとえば…

昭和館デジタルアーカイブ (<https://search.showakan.go.jp/>)

ヒロシマ・アーカイブ (https://hiroshima.mapping.jp/index_jp.html)

立命館大学国際平和ミュージアム (<https://rwp-museum.jp/exhibition/web/>)

ジャパンサーチ➤ギャラリー➤『写真週報』掲載写真と関連資料で見る戦時下の子供たち
(<https://jpsearch.go.jp/gallery/photoarchive-syuhou001>)

知識を相対化しよう！

- 得られた情報は、特定の立場から語られている。
- 図書館の本や教科書や資料集から、その情報がどういう意味を持つのか考えよう！
- 気になった資料の意味を考えるためのヒント ➤ 次のスライド

注目ポイント

・ “誰”の立場で書かれている／語られているのか？

➤たとえば、ポスターの多くは「アメリカ食品局」が出している。この組織はどんな組織なのだろう？

・ いつ、その資料が作られ、広められたのか？

➤時代を特定するだけではなく、それがどのような時代なのか、そしてその組織や上部組織はそのときどういう存在だったのかを考えてみよう。

・ 資料や情報の対象となる“時代”の記述とかけ合わせよう！

➤図書館の本を探してみよう。

➤教科書・資料集も見よう。

いつ・どこで・誰が出したもののか、
形式はどうか注目！

成果の共有

◆まとめ

・以下の3点を含めて、1枚以上のスライド（ロイロノートなども可）にまとめよう。

①対象資料の画像とその説明

②資料は表す内容、意味

③その根拠、理由

◆発表

➤聞きながら、フィードバックシートに記入しよう。

◆データとフィードバックシートを教員に提出

分岐ルートB

聞き取り調査

実体験に近づこう

身近な「戦争」について探してみよう

- 身近な人（家族、近所の人）から第二次世界大戦・太平洋戦争の時代の生活の話を聞いてみよう。
- デジタルアーカイブを利用して、戦争の頃の“日常”を探ってみよう。

たとえば…

昭和館デジタルアーカイブ (<https://search.showakan.go.jp/>)

ヒロシマ・アーカイブ (https://hiroshima.mapping.jp/index_jp.html)

知識を相対化しよう！

- 聞き取りで得られた情報は、特定の立場から語られたもの。
- 図書館の本や博物館の資料、教科書や資料集からその情報がどういう意味を持つのか考えよう！

成果の共有

◆まとめ

・以下の4点を含めて、聞き取り調査内容をスライドにまとめよう。

①話の概要

②注目したポイント

③そのポイントで、語り手がどのような話をしていたか（具体的に）

④図書館の本などを用いることで気づいたこと

◆発表

➤聞きながら、フィードバックシートに記入しよう。

◆データとフィードバックシートを教員に提出。

分岐ルートC

家庭科との接続

戦時中のレシピを再現しよう！

- 戦時中のレシピを再現しよう。

斎藤美奈子『戦下のレシピ：太平洋戦争下の食を知る』（岩波現代文庫）、岩波書店、2015年。【➤参考文献】

千葉県松戸市が紹介するレシピ➤「麦ごはん」「すいとん」

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/heiwa/kako_heiwajigyo/shokujitaiken/senjicyuunoreshipi.html

第二次世界大戦中の『主婦之友』に掲載されているレシピなど。

- 味だけではなく、それが戦時中“豪華な”食事だったか、日常の食事だったのかにも目を向けよう。

参考文献

- 吉見俊哉〔編〕『戦争の表象：東京大学情報学環第一次世界大戦プロパガンダ・ポスター・コレクション』、東京大学出版会、2006年。
- 斎藤美奈子『戦下のレシピ：太平洋戦争下の食を知る』（岩波現代文庫）、岩波書店、2015年。
- 藤原辰史『戦争と農業』（インターナショナル新書）、集英社インターナショナル、2017年。
- 藤原辰史『カブラの冬：第一次世界大戦期ドイツの飢饉と民衆』、人文書院、2011年。

参考記事

- レファレンス協同データベース：「戦時中の代用食について調べたい。」
https://crd.ndl.go.jp/reference/entry/index.php?page=ref_view&id=1000323591
- 徳島新聞デジタル
「食糧統制が強まり米に手が届かず サツマイモが代用食に【あこのころの食卓 戦時下の徳島】②」
<https://www.topics.or.jp/articles/-/548816>